本日(29日)対評議会抗議斗争に決起せよ!

政府＝文部省、大学当局の入試中止による あくなき移転実現の策動阻止!

休校、発校による教育大の帝国主義的再編のエスカレートの突破口＝入試中止粉砕!

民青系による入試実現要求＝「国民のための大学擁護」運動への歪曲を許すな!

全学学生共闘会議

教育大の斗う全ての学友諸君!

我々は昨日、日共＝民青系による入試中止回避＝「国民のための大学擁護」運動を粉砕しつつ、大学当局、文部省の代弁者として、事務局として何ら阻止しえなかったフロント系諸君、形式論理しか理解しえない学生会討委諸君、何ら入試中止策動に対しえぬ反戒会討系諸君等、全学斗に敵対する部分をものりこえて、昨日の決起集会をもかちとりつつ、一昨日評議会で決定された、文、理、教の入試中止、第二体の分離入試に示された当局によるあくなき統波移転の強行策動と我々に対する更なる弾圧策動を粉砕する斗いを断乎として遂行した。全ての斗う教育大の学友諸君!この昨日の斗いに続き、本日評議会において昨日の文部省との交渉により、最終的に入試をめぐっての移転が出されようとしている今日、この劇一覧して統波強行移転の策動をなしてきた評議会に対して入試中止策動の断乎たる粉砕の斗争を展開し統波移転の阻止目指して断乎たる抗試行動に立ち上ろうではないか!

まさに我々は、この入試中止の策動を、入試中止のもくろむ社会的な影響を考慮しつつも、教育の帝国主義的再編の一環である統波移転を強行的に推し進めようとする当局と文部省が一体となったとこうのあくなき野望の現段階的表現として、そして更には、あくまで移転を貫徹する為めには将来的に文部省の恫喝により行なうかもしれぬとこうの休校・閉鎖を通じての教育の帝国主義的再編のワンステップとしての策動としてとらえなければならないであろう。すなわち、当局は、文部省のタイムリミットの恫喝、そして「斗争しのばす社会的影響等を考慮しつつ、なんとかして12日中に「斗争」を解決し、留年の回避あるいは入試を行なおうと一連のソフトムードをただよわせながら全学集会の実現をめざしつつ我々の斗争の切り崩しをはかってきた。これに対し我々は、日共＝民青の犯罪的な策動粉砕なる斗争破壊君!この怒りをバネとして、本日の評議会に対しての抗議行動をそして更には二月における断乎たる斗争を爆発、醸成せしめようではないか!レかしながら学校当局による文部省を擁護する当局に対する我々のこの回避＝集会なのだ。我々の斗争の場は日共＝民青系諸君ではなく、我々の斗争の場は日共＝民青系諸君ではなく、我々の斗争の場は日共＝民青系諸君ではなく、